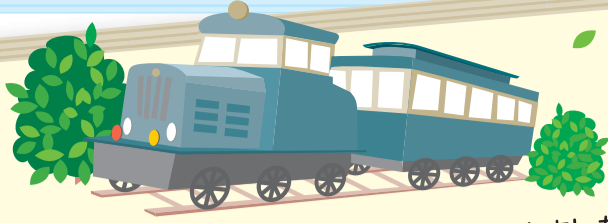


旧軽便鉄道探訪コース



かつて榛原から袋井駅まで運行していた静岡鉄道駿遠線は地域の人たちの重要な交通手段として親しまれてきました。かつて自動車が主役の座を奪われ、惜しまれながら終焉を迎えましたが、いかに地域の人たちに愛されてきたかは、整備された遊歩道を歩いてみればわかるはず。軽便鉄道に関する数々のレリーフやモニュメントなどが、訪れる人を暖かく迎え、彩りを添えます。古き良き時代の名残に思いを馳せながらゆるゆると歩いてみてはいかがでしょうか。



13.0km

JR袋井駅

柳原駅跡

諸井駅跡

芝駅跡

浅名駅跡

五十岡駅跡

新岡崎駅跡

新三輪駅跡

笠原児童館

石津駅跡

七軒町駅跡

清水邸庭園

※バスの時刻表をご確認の上
お出掛けください。

袋井駅(駿遠線)

駿遠線の発着駅として賑わっていましたが昭和42年8月に廃止となりました。当時の駅の様子をうかがえるものはなく、駅から西を見た駐車場の形状がわずかに面影を残しています。JR袋井駅の南側ホームに当時のプラットフォームがあります。昭和38年度の乗客数は79万人と多く、地域の方々の足を支えていました。

柳原駅跡

現在は柳原地区の公会堂になっている場所がかつての駅の跡でした。いまはまったく面影はありません。当時の鉄橋が架かっていたところは現在の県道の東側となります。

諸井駅跡

自動車学校の裏に位置するこの駅周辺は、西側を通る県道沿いに飲食店や様々な商業施設が並び賑わっています。駅跡には駅名を示す標識があり、説明が書かれ、当時の様子がうかがえます。

芝駅跡

旧浅羽町のまちなかにある駅で当時の駅付近はすいふんと賑わっていました。昭和38年度の乗客数は14万人と旧浅羽町にある駅の中でも最も乗降客が多く、現在は駅名を示す標識が残っています。神社やお寺も多く、趣のある地域です。

浅名駅跡

軌道に沿ってきれいに整備され、軽便鉄道をモチーフとしたオブジェが配置された遊歩道になりました。地域の方々が安心して歩くことができます。浅名駅の跡には駅名を示す標識があります。

近藤記念館

近藤健次さんの郷土に対する貢献を顕彰するためエントランス広場の中の施設としてオープンしました。郷土資料館の隣に位置し、展示・学習・体験に利用されています。浅羽図書館には未来ある子どもたちの知的欲求が満たされるようにと、本を寄贈いただき「近藤文庫」の書架を設置し、貸し出しを行っています。

遠州横須賀城址

かつては高天神城攻略の起点として築城され、その後280余年に渡り横須賀藩の中心であった横須賀城は、明治維新とともに廃城となり、残された城跡は現在国の指定文化財として整備が進められています。天守閣跡には当時の城郭の様子をかたどった模型があります。

清水邸庭園

清水家は江戸元禄時代に回船問屋を営み、藩の御用達を勤めるなどして栄えた旧家です。屋敷の南に広がる回遊式庭園は江戸中期に造られたものといわれ、「静岡県みすべ百選」に選出された湧水を巧みに取り入れ、水の豊かさ、清らかさが映える名園です。

遊歩道

いまも当時の道幅で軌道が残されており、地域の自転車歩行車道として活用されています。地域の方々のウォーキングコースとしても親しまれています。

五十岡駅跡

道路の南側にまっすぐ続く道を進んでいくつかの川を渡ると五十岡駅の跡があります。あずまやが建てられ休憩所として地域の住民の憩いの場となっています。

新岡崎駅跡

笠原地域の中心にある新岡崎駅は乗降客も多い主要駅のひとつでした。駅の跡には標識と石碑がつくられ、当時の様子を垣間見ることができます。

石津駅跡

いまも駅のプラットフォームの跡が残る貴重なポイントです。当時の面影を残し、緑の中を、ゆるやかに弧を描いて進みます。

とうもんの里

とうもんとは「稲面(とうも)」または、「田面(たおも)」に由来する言葉です。農業と農村文化を守り伝えたい。その想いから、農業体験、食体験、市の開催などの様々な活動をしている田園空間博物館です。

桜並木

軽便鉄道が走っていた土手沿いに桜の木が植えられていて、みごとな花を咲かせています。桜の季節には絶好のウォーキングポイントです。

掛川市役所
大須賀支所